

岩国市中小企業等振興審議会 第13回審議会議事録(要旨)

日時 令和6年8月23日(金) 10:30~12:00

場所 市役所 4階 41・42会議室

出席者 委員15名(欠席1名)

事務局 商工振興課長、副課長、企業振興班長、企業振興班員、中心市街地活性化推進班長、商工労政班長、観光振興課観光推進班長、シティプロモーション課移住定住班長

1 開会

- ・委員自己紹介

2 会長選出

- ・富本委員を会長に選出

<説明事項>

3 中小企業等振興審議会及び基本条例について 資料1

(事務局から資料に基づき説明)

これまでの審議会での意見と反映した施策について、資料として毎回作成し、説明。公表する旨を確認。

4 中小企業等振興事業の取組状況について 資料2

(事務局から資料に基づき説明)

主な質問・意見

(人件費の高騰に伴う状況、その対策について)

- ・他地域の事例と比べても岩国市は様々な補助制度があり、手厚いと感じる。
- ・人件費高騰により会社が従業員を解雇する。従業員が独立する動きがちらほらとみられる印象がある。新たに独立する人に対する助成金や企業に対し補助金以外にも助けとなるものがあっても良いのではないか。

→新たに事業を始められる方に対して、初期費用の負担軽減を図るため創業支援補助金の交付を行っている。また、企業が適切な価格転嫁により売上を向上させ、人件費を確保することが重要であると考えている。そのため、価格転嫁の交渉促進月間の周知や相談窓口として下請かけこみ寺、セミナー開催等の周知に努めている。

- ・先日、会でも議論したところだが、従業員を抱えていると社会保険料の負担が大きくなっており、解雇してしまう課題がある。価格転嫁を出来ていない企業がほとんどである。

(再開発について)

- ・マクロの話になるが、市で様々な取組があり、施策などいい手段も多くあるが岩国市をどうしたいかが見えてこない。

例えば、駅前の再開発について市が購入している3、4階のにぎわい創出施設をどのようにして1、2階の商業施設と連携させるのか。にぎわいのコンセプトやターゲットを、青写真の様なものでアピールすることや、どういったところに対してどのような手段を用いるかを金融機関や商工会議所、商工会と連携することができていれば、事業効果、KPIはさらに増えていくのではないか。他都市でも、再開発ビルができたが、かなり苦戦されている。→現在、第3期中心市街地活性化基本計画の策定に取り組んでいる。頂いた意見はにぎわい創出等を踏まえながらしっかり計画に盛り込んでいきたい。

(女性活躍について)

- ・女性の起業家や中小企業で働く女性に対し、子育て等、様々な支援施策があると良い。

5 令和7年度施策の検討状況について 資料3

(事務局から資料に基づき説明)

主な質問・意見

(デジタル活用人材育成・確保支援事業について)

- ・市内事業者のデジタルに関する相談をみても、クラウドやキャッシュレス決済、WEB環境、内部環境の整備などが多い。商工会議所が相談窓口となっており、相談者も多く、相談枠が、大方埋まっていることから、まだまだニーズが多いように考えられる。キャッシュレス決済を導入し、外国人への売上が倍増したとの事業者も聞く。事業者が身近に相談できる窓口の設置などの支援事業を実施してほしい。

→市内事業者の導入に対する相談状況を見ても、令和5年度では、111件の相談のうち、クラウド会計や給与に関する相談が24件、次いでキャッシュレスやposレジなど決済に関することが15件、環境整備に関することなどが13件などとなっている。

デジタル技術の活用は、人材不足、労働力不足の解消を進める、手段の一つと考えており、引き続き支援していきたい。

- ・デジタル活用支援の一環として、若者に対して仕事効率化等を目的としたスマホ活用型講座があっても良いのではないか。

(人材の確保について)

- ・全国的にも人材不足が課題となっており、人材の取り合いがこれからも続くと言われる。他市、他県に人材が渡ることのないように対策が必要。また、しっかりと岩国市に就職

したいと思えるような施策に繋げていただきたい。

→若者の定住を積極的に取り組んでいる。以前開催された岩国市合同就職フェアについて県内のイベントと比較しても遜色ない人数の参加がある。今後も、市外の大学生に対しても積極的に参加を促すなどして事業を進めていきたい。

(インターンシップについて)

・中小企業でもすごく魅力的な企業が沢山ある。10代、20代の子が地元で頑張りたいと思う子も多く、結構マッチングができる。早い時期、小学校、中学校から就業の目線を持ち、インターンシップを行うことで岩国への就職を促すことが重要である。

(地域商業支援事業補助金(旧店舗魅力向上リニューアル補助金)について)

・リニューアル補助金を活用したいとのニーズがある。2回目が利用できるインターバル期間を5年で検討中とのことだが、3、4年間隔としてほしい。また、店舗移転範囲が300m以内ならば補助対象となっているが移転範囲の拡大を検討してほしい。

→引き続き検討していきたい。

・補助対象は、3年以上事業を継続している店舗とあるが緩和してほしい。以前、空き店舗を利用して事業を再度始めた際、対象となる補助金がなかった事例が2件ほどある。

・この補助金は大変意味があると考えている。Wifiを整備する補助金があってもよいかと考える。

(事業承継について)

・山口県全体として、事業承継の民間サイトへの掲載が少なかった。事業承継の支援先の紹介、周知に力を入れてほしい。

→事業承継の取組としては、県事業引継ぎ支援センターが市役所にて出張相談会を毎月第2水曜日に開催している。商工会議所では毎週火曜日に事業承継に詳しい専門家が相談を受けられており、日本政策金融公庫においても全国的にマッチング支援に取り組まれておられると聞いている。今後も支援機関窓口の周知に努めたい。

・事業承継には株、ビジネスモデル、人事評価の3点が課題としてあげられることが多い。個人としてではなく、経営方針や人事評価制度等の組織作りが必要となっていくと考えられる。

(錦帯橋周辺について)

・錦帯橋周辺の魅力づくりの施策が足りていないのではないかと。

→今年度から「岩国市重要文化的景観生活生業支援事業補助金」という事業を設け、文化的景観の価値の保存と生活生業の創出や維持を図ることを目的に支援を始めたところ。

6 市内の経済状況について（意見交換） 資料4
（事務局から資料に基づき説明）

主な質問・意見

（外国人材の支援について）

・外国人の技能実習生、留学生等が増えてきている今、そういった外国人材に対する支援が必要である。中小企業団体中央会の取り扱う事業において、日本語向上を目的とした講習会の費用を補助している。

（プレミアム商品券について）

・市外の方が、市内店舗に買い物に来るような施策を考えてみてもいいのではないかな。

7 その他

審議会の公開について確認し、異論なし

8 閉会